

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ	3	2年	・MY WAY English Communication II(三省堂)

【第2学年】学習到達目標：CAN-DO リストの該当学年の学習到達目標を再掲のこと。

①話すこと		②書くこと		③聞くこと		④読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
☆簡単な文を使って話したり、質問をすることができる。 ◆前もって準備した上で、日常的な事柄について基本的な語や表現を使って、複数の文で描写することができる。 ◆◇天候、時間、物の値段など、日常的に必要な事柄について、決まった表現や形式を用いて尋ねたり、答えたりすることができる。	定期考査 日々の授業における音読のタスク ペアリーディング	☆簡単な文やメモを書くことができる。 ◆簡単な語や基礎的な表現を用いて、身近なこと（好きなもの嫌いなもの、学校生活など）について複数の文を書くことができる。	定期考査 小テスト（単語・暗唱文）	☆簡単な文や指示を理解することができる。 ◇◆ゆっくりはっきりと発話される基本的な英文を1文聞き取ったあと、レポートすることができる。 ◇ゆっくりはっきりと話されるとは自分自身や家族、学校など身の回りのことについて聞き取ることができる。	定期考査 日々の授業における本文の聞き取り リスニング問題 ペアリーディング	☆簡単な文章や表示・掲示を理解することができる。 ◇待ち合わせの時間や場所といった日常的な内容のメール文など具体的な事柄について書かれたものを読み、理解することができる。 ◇簡単な語や表現を使って書かれた短い物語や身近なトピックに関する短い文章を挿絵や写真を参考にしながら理解することができる。	定期考査 小テスト（単語・暗唱文） 本文読解問題

【年間指導計画】上記学習目標を当該科目で指導する計画を記載のこと。

(学年・学科) 第2学年 英語科 (コミュニケーション英語Ⅱ) (3単位) (教科書・教材) MY WAY English Communication II(三省堂) /						
学期	単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習活動	単元の 評価規準	評価方法
1 学期	Lesson1 Pictograms (4時間)	・身近にあるピクトグラム、国や地域によって異なるピクトグラム、日本発祥のピクトグラムなどについて学ぶ。	・SVC/SVO, SVO(0=if節), SVC(C=分詞)を理解し、文を作ることができる。 ・本文で筆者の主張と具体例を明確に区別し、必要な情報を読み取る力を養う。 ・ふだんにするピクトグラムについて、自分の考えを述べることができる。	・本文の読解を通じて、単元の目標に掲げた文法事項を身につける ・ピクトグラムの役割を考えさせる。 ・国や地域による違いから、文化の違いを認識させる。 ・本文の音読	① ② ③ ④	授業での取り組み 小テスト 課題提出状況 定期考査
	Lesson2 New Year's Celebrations (7時間)	・1月1日以外に正月を祝う国の、それぞれのお祝いの仕方を学ぶ。	・SV0102(02=if節), SV0102(02=that節), it seems that~を理解し、文を作ることができる。 ・世界の正月について、自分の考えを述べるができる。	・本文の中で、単元の目標に掲げた文法事項を理解し、学習した構文を使って英文文に取り組む。 ・世界の正月に着目させ、日本との類似点、相違点を考えさせる。 ・本文の音読	① ② ③ ④	授業での取り組み 小テスト 課題提出状況 定期考査
	Lesson3 Eco-friendly Inventions (6時間)	・環境にやさしい発明品と、さまざまな発明品のアイデアについて、取り組むべき姿勢を学ぶ。	・<It is ... to不定詞>, 形式目的語<to不定詞構文, 形式目的語<that節>の構文を理解し、文を作ることができる。 ・環境に優しい発明品について、自分の考えを述べるができる。	・本文の中で、単元の目標に掲げた文法事項を理解し、文単位で意味の解釈をする。 ・人間と自然との共生や人々の生活向上に役立つものについて考えさせる。 ・本文の音読	① ② ③ ④	授業での取り組み 小テスト 課題提出状況 定期考査
	Lesson4 Brazil - Far away or Close? (7時間)	・日本とブラジルの距離は遠いが、深いかかわりがあることを学ぶ。	・<S+V+O+C [動詞の原形]>の構文, <S+V+O+C [過去分詞]>の構文, <help+O+動詞の原形>の構文を理解し、文を作ることができる。 ・ブラジルと日本が遠くて近い関係にある理由について、そのほかに調べようとする。	・本文の読解を通じて、単元の目標に掲げた文法事項を身につける。 ・ブラジルの地理、歴史を紹介し、日本とのつながりについて考えさせる。 ・本文の音読	① ② ③ ④	授業での取り組み 小テスト 課題提出状況 定期考査
2 学期	Lesson 5 Eye Contact (11時間)	・デフリンピックに参加したろう者女子サッカー選手からアイコンタクトの大切さを学ぶ。	・関係代名詞(主格), 前置詞+関係代名詞, 関係代名詞の非制限用法, 関係副詞の非制限用法を理解し、文を作ることができる。 ・ろう者サッカーと通常のサッカーのルールの違いについて、さらに調べようとする。	・本文の中で、単元の目標に掲げた文法事項を理解し、該当する箇所を構文と日本語訳の両面から正確に解釈する。 ・目で伝えるコミュニケーションの大切さについて考えさせる。 ・本文の音読	① ② ③ ④	授業での取り組み 小テスト 課題提出状況 定期考査
	Lesson 6 Space Elevator (7時間)	・宇宙エレベーターの構造について学び、その実現可能性について考える。	・現在完了形, 現在完了進行形, 過去完了進行形, 未来進行形を理解し、文を作ることができる。 ・宇宙エレベーターの建設について、自分の考えを述べるができる。	・本文の読解を通じて、単元の目標に掲げた文法事項を身につける ・宇宙エレベーターについての説明文を的確に読み取らせる。 ・本文の音読	① ② ③ ④	授業での取り組み 小テスト 課題提出状況 定期考査
	Lesson 7 An Encouraging Song (8時間)	・時代を超えて歌い継がれる ZARD の『負けないうで』について知り、坂井さんほどのような思いを込めたのかを知る。	・助動詞 may, <may+have+過去分詞>, <would like to+動詞の原形>, <seem to have+過去分詞>を理解し、文を作ることができる。 ・『負けないうで』の歌詞について、自分の考えを述べるができる。	・本文の読解を通じて、単元の目標に掲げた文法事項を身につける ・歌詞に込められた思いを認識する。 ・この歌がどのように人々を励ましたのかを認識する。 ・本文の音読	① ② ③ ④	授業での取り組み 小テスト 課題提出状況 定期考査
	Lesson 8 Language Contacts (8時間)	・小笠原諸島の「小笠原言語」を例に、複数の言語が会合するとき、互いに及ぼす影響について考える。	・仮定法過去, 仮定法過去完了, if を使わない仮定法条件節相当, <no matter+疑問詞>を理解し、文を作ることができる。 ・言語の価値について、自分の考えを述べるができる。	・本文の読解を通じて、単元の目標に掲げた文法事項を身につける。 ・言語接触によって生まれた言語について考え、ことばの大切さを考えさせる。 ・本文の音読	① ② ③ ④	授業での取り組み 小テスト 課題提出状況 定期考査
3 学期	Lesson 9 Charles Chaplin (8時間)	・20世紀の喜劇王と呼ばれたチャップリンの半生を学び、喜劇王になるまでの葛藤について学ぶ。	・分詞構文, 過去分詞で始まる分詞構文, <having+過去分詞>の分詞構文, with を使って2つのが同時に起っている状態を表す用法を理解し、文をつくることができる。 ・チャップリンの人生観について、自分の考えを述べるができる。	・本文の読解を通じて、単元の目標に掲げた文法事項を身につける。 ・人生経験を糧に悲劇から喜劇を生み出した経緯を理解させる。 ・本文の音読	① ② ③ ④	授業での取り組み 小テスト 課題提出状況 定期考査
	Lesson 10 The Five-story Pagoda of Horyuji (8時間)	・1300年もの間倒れずにその姿を保っている法隆寺の五重塔の秘密を学ぶ。	・ある名詞と同格の内容をもつ that 節, ある語句を強調するための倒置, 同じことばのくり返しをさせるための省略のある語句を強調するための強調構文を理解し、文を作ることができる。 ・自然との向き合い方について、自分の考えを述べるができる。	・本文の中で、単元の目標に掲げた文法事項を理解し、該当する箇所を構文と日本語訳の両面から正確に解釈する。 ・五重塔の構造を的確に読み取らせる。 ・東洋と西洋の建造物の違いについて、認識させる。	① ② ③ ④	授業での取り組み 小テスト 課題提出状況 定期考査